

## 広島

### 令和7年度全日本ろう剣士会九州支部 春季合同剣道稽古会

令和7年5月17日(土)～18日(日)  
青春英龍館道場  
資料提供：菊池文孝  
(青春英龍館&全日本ろう剣士会)

広島県東広島市にある青春英龍館道場(松井隆太館長)において、全日本ろう剣士会(吉本浩久代表)は、青春英龍館と共催で春季合同剣道稽古会を開催しました。

17日(土)は以下の活動を行いました。①剣道手話講座、②合同稽古、③親睦試合、④懇親会。

剣道手話講座では、「稽古で使える手話」をテーマにし、青春英龍館の道場生とその保護者の皆さんと一緒に学びました。現在、道場生たちが講座で覚えた手話を使って積極的に会話してくれており、とてもうれしく感じています。



1日目の稽古会に参加したメンバー

合同稽古では、タイヤ打ちから始まり、基本稽古を行ないました。親睦試合では、ろう剣士会チームと青春英龍館チームによる親睦試合を実施しました。青春英龍館の道場生にとって、非常に有意義な稽古になったことと思います。

懇親会では、保護者の皆さんが手作り料理を用意してくださり、参加者全員で食卓を囲みながら、障害者と剣道についてさまざまな意見交換ができました。言葉だけでなく、「まず、自分たちが行動することの大切さ」を改めて実感する時間となりました。

2日目の18日(日)は稽古と親睦会が行なわれました。稽古では、広島県東広島市の西志和市民体育館



剣道手話講座。道場の少年剣士たちも参加して手話を学んだ

にて、全日本ろう剣士会のメンバーと青春英龍館の道場生が合同で、基本稽古、応じ技稽古、そして地稽古に取り組みました。参加者全員が真剣に考えながら集中して取り組み、充実した稽古となりました。

親睦会では、みんなでのお好み焼き店を訪れ、美味しい広島お好み焼きを囲みながら楽しい時間を過ごし、稽古の疲れも一気に吹き飛びました。

2日間を通じて、全日本ろう剣士会と青春英龍館の参加者たちは、お互いに学び合い、理解と絆を深める貴重な機会となりました。今後もこうした交流を大切にしていきたいと考えています。